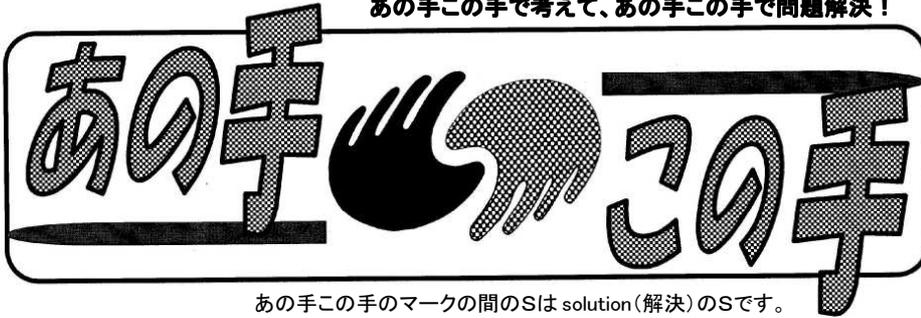


あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！



2011  
8  
月号



花ことばは「繊細な心」。  
「泉の森」(大和市)の池でも美しい花が見られます。  
—スイレン—

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。

大和市民活動センター[拠点やまと] 第 49 号 2011 年 8 月 1 日発行



絵:「みんな大好き」佐藤愛莉(北大和小2年)

今号の表紙絵は前号に引き続き、やまと国際フレンドクラブ主催(IFC)『第3回やまと国際アートフェスタ～わたしのゆめ～』で、IFC 賞を受賞した佐藤愛莉さんの作品です。

### 「新しい公共」が生まれる現場の今

協働推進会議からの答申を経て、協働事業が決定します

「新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて協働事業提案制度があります。市民、市民団体、事業者、行政が共通の課題解決に向けて、お互いの提案に基づいて意見交換して、よりよい活動を目指します。(意見交換会の様子は p.3 に掲載)。

大和市民活動センターも行政提案型協働事業に応募しています。

8/10(水)協働推進会議から答申。

8/25(木)に平成 23 年度の協働事業が決定します。

事業実施は平成 24 年度からの 3 年間です。

\*「あの手この手」は大和市民活動センターの H.P.ではカラーでご覧になれます。

<送付の際、同封されているご案内>

- ・第 44 回連続共育セミナー「五味さんのゴミひろい」のお知らせ
- ・第 3 回登録団体交流会のお知らせ
- ・情報交差点「演劇やまと塾」「大和南京玉すだれの会」

名刺交換が  
楽しみだね。



団体交流会のキャラクター  
ピーチクパーチク

今年も「ピーチクパーチク賞」ねらってほしい。

### <打合せスケジュール>

8/ 3(水) 16:00~18:00  
8/ 9(火) 16:00~18:00  
8/18(木) 16:00~18:00  
8/29(月) 16:00~18:00  
9/ 7(水) 16:00~18:00  
「センター」フリースペースにて行います。  
参加は自由です。

# ここから始まるつながりの手 第3回登録団体交流会 ~ひろげよう市民活動の“わ”~

日時:9月11日(日)13:00~16:00

場所:大和市勤労福祉会館 3Fホール

## 企画を持ち寄って交流会を盛り上げよう!

この際だから、企画、運営に関わって、思いっきり楽しんじゃおう! そんなノリで参加しませんか? どんなステキな出会いがあるか、どんなつながりが生まれるか、参加しなければ始まらない。まずは、参加です。登録団体交流会に参加希望の団体は8/25(木)までに、「センター」にお申し込みください。

TEL:046-260-2586

FAX:046-205-5788

Mail:yamato@ar.wakwak.com

会長 関根孝子

拠点やまと



ピーチクパーチク賞  
あなたは第三回大和市民  
活動センター登録団体交  
流会で抜群に大きな輪を  
作りました。

ピーチクパーチク賞:よりたくさんの人と交流した人に会議室1時間の無料券をさしあげます。

コラボレーション  
しましょうか。

わー、素敵な活動  
してるのね。



「センター」の  
ある日ある時

### 7月4日(月)晴れ

大和市民活動センターの看板を塗り替えた。設立時、配色・デザイン案は多く出たが、誰も描かない。今回は逆に、描く人ばかりで案がまとまらない。「思い出や記念に文字を書かせて!」と手伝ってくれる。そこで「目立たないように!自分が描いた場所が分かるようでは駄目ですよ」とアドバイスをしたのだが…(N. M)

## 被災地で市民ボランティアが活動しています

大和市では、東日本大震災により大きな被害を受けた被災地を支援するために、ボランティアバスを7月から9月まで運行しています。行き先は岩手県陸前高田市。

陸前高田市は、大和市が地域活性化を目的に昨年6月にオープンした「とれたて大和」ショップに特産品を提供してもらい販売しているつながりがあります。このボランティアバスは、会社に勤めている方も参加しやすいよう行程を金曜日~日曜日の週末3日間に設定。市の所有するバスを使って運行し、現地のボランティアセンターを通じて支援の調整をして活動するものです。第1便が7月8日(金)夜、市役所からバスで出発し、9日朝に現地に到着。途中高速道路のサービスエリアで休み休み約12時間のバス旅。



## 被災地に“うちわ”を送ろう!

“かながわケアマネ隊”が宮城県女川町の全戸調査を行い、“うちわ”を届けることになった。関係登録団体「ワーカーズ・コレクティブ想」からの呼び掛けで、大和市民活動センターにも“うちわ”が集まり、500以上の“うちわ”を支援隊に渡しました。中には励ましのメッセージや可愛い絵の便りが描かれていて、梱包の前に写真を撮っていました。(「センター」H.P.に写真掲載しています)

当日は晴天。津波により被災した港湾施設のがれき撤去や側溝に溜まった泥をスコップで取り除いたりといった作業にあたりました。猛暑の中、平均52歳の20人が30分活動して、30分休憩といったスケジュールで約4時間の作業が精一杯だったとのこと。参加者は、なかなか一人では被災地に向かえなかったけれど、支援をしたかったので今回参加できてよかったと話されていました。

(市民活動課 市民活動支援担当 村山真弓)

\* 被災地支援活動の様子は市民活動センターでパネル展示しています。

## 今年も「海の日」にかわくだり

7/18(海の日)、第22回引地川かわくだりを行いました。“川のぼり隊”は32名で川の中を歩いてゴミ拾い。75キロのゴミをひろいました。引地台中の中学生が9名、先生といっしょに参加してくれました。年々ゴミの量は少なくなっているといっても、これだけのゴミを一年の間に捨てる人がいるんですね。ふれあい広場では、魚とりなど、川の生き物とのふれあいを50名で楽しみました。柏木学園の高校生7名が参加。来年は、高校生たちと企画からいっしょに考えていけたらと思います。市民活動センターで借りたパネルを使って、引地川のトンボの写真を展示し、蘇ってきた引地川のトンボをアピールしました。(引地川かわくだり実行委員会 飯塚栄子)

今年もやります  
中高生のボランティア体験

# 「このゆびとまれっ！」



「ワンピース」の子どもたちとの交流  
知的障害児といっしょに遊びます。  
8/6(土)13:30~17:00 大和市民活動センター

- ・かき氷を作っていっしょに食べよう。
- ・会場の準備・後片付け
- ・公園でいっしょに遊ぼう。
- ・かくれんぼ・おにごっこ・クイズラリーなど。



わー、すごい  
スピード!



「しんちゃんハウス」で子育て支援  
子どもたちといっしょにゲーム・折り紙・ボール遊びなど。  
8/11(木)15:30~17:00 しんちゃんハウス

## 視覚障害者との交流

- ・誘導体験学習  
8/8(月)9:30~11:30 大和市民活動センター
- ・視覚障害者とクラシックコンサートを鑑賞  
8/8(月)13:00~16:30 大和ウインホール  
13:00~舞台セッティング、会場準備、照明・音響セッティング、受付準備など
- 14:00~14:40 ピアノ・ヴァイオリンによる音楽鑑賞
- 14:40~15:00 視覚障害者移動
- 15:00~16:00 視覚障害者のみなさんとおしゃべりなど

## サウンドテーブルテニス

視覚障害者のみなさんといっしょに卓球をやりながら交流します。

8/8(月)9:00~12:00 大和市保健福祉センター  
8/22(月)9:00~12:00 大和市保健福祉センター

..... \* 中・高校生のみなさん、大和市民活動センターにお問い合わせください。TEL:046-260-2586 .....

## “あたたかいひとこと”が励ましに

よりよい協働事業になるために、協働事業提案意見交換会を開催しました。

(7/10(日)13:00~14:30 勤労福祉会館)



### 月見野遺跡群の埋蔵文化財の発掘と 市民参画キャンペーン事業

NPO 法人旅めぐり証明書発行基金会  
文化振興課

#### あんな意見こんなひとこと

- ・地元で活動している人たちやボランティアガイドと連携して、活動の広がりをもたせたらどうでしょう。
- ・官民協働でよい成果を期待します。

### 食材を通じ大和と子どもを繋げる 事業「子ども食育クッキング」

大和クッキングスクール  
農政課

#### あんな意見こんなひとこと

- ・食育に関心のない人へのアプローチをどうするのが、具体的に示されていないのが残念。
- ・事業の目的が提案者は食育、担当課は地場産品のPR。工夫の余地あり。



### ふくの手 全員集合

パパポラやまと・社会福祉法人 敬愛会・  
NPO 法人ワーカーズ・コレクティブ 想  
健康福祉総務課

#### あんな意見こんなひとこと

- ・「茶 OH!」が無縁社会の孤立を救っているのでは。
- ・市内に広く展開されるよう頑張ってもらいたい。
- ・市民の誰もが見えるような広報活動をしてほしい。

### 大和市民活動センター管理運営事業

拠点やまと  
市民活動課

#### あんな意見こんなひとこと

- ・市民の無償性を前提とせず、適切な対価が支払われるよう、検討してほしい。
- ・運営を継続させていくためにも、全体を総括できる若い人をセンター長に。
- ・市の負担金のみではなく、いろいろな方面から協賛金を集められないのか。
- ・社会資源の創出という位置づけで、共育セミナーは個人を対象にしている。

### 大和市・AJAPE プレスクール開催事業

NPO 法人日本ペルー共生協会  
指導室/国際・男女共同参画課

#### あんな意見こんなひとこと

- ・言葉の壁を超えたら暮らしやすくなるので、成功を祈っている。
- ・学校生活が始まる前に不安を取り除いてあげることは重要。
- ・就学前検診のときに、必要としている人の発掘ができる。

### みんなおいでよ！ほっと+（プラス）カフェ ～カフェで始まる子どもと子育て応援事業～

NPO 法人ピコピコ  
こども総務課/保育家庭課/こども・青少年課/青少年相談室

#### あんな意見こんなひとこと

- ・協働することで、どういう課題が解決できるのか、もう少しはっきりさせてほしい。
- ・障害のあるなしに関わらず、バリアをなくす活動を期待します。

### 文化創造担い手育成事業

ドラマティックカンパニーyamato50  
文化振興課

#### あんな意見こんなひとこと

- ・「デザインコンペ」は夢のもてる事業。工夫を凝らして盛り上げてほしい。
- ・大和市の文化レベルの向上をめざしてください。
- ・まちづくりの観点からもよい事業。
- ・“学校をアートする”という視点も取り入れていったらどうでしょう。
- ・小さくても早めに成功例を示して。





大和市民活動センター[拠点やまと]が制作発行する  
月刊広報紙「あの手 この手」。  
8月号(第49号)をお届けします。

園庭から園児たちが保育室に戻ってくる。大声で走り回った興奮をそのままに。カーテンを引いた保育室で先生は黙って、1本の蝋燭(ろうそく)に灯を点(とも)す。蝋燭の小さな炎(ほのお)を真ん中に「今日はこれからのことをお話しします」と。誰かがおしゃべりしようとして、先生は囁(ささや)くように語りだす。すると子どもは炎を見つめ始め、先生の静かな言葉に耳を澄ます。ほんの1分間ほどで、しんとした静かな空間が作り出された。これは何度か訪れたドイツ、ミュンヘンでのあるときの保育園での体験だ。たった1本の蝋燭の小さな炎マジック。

確かに私たちは小さいときから寺や神社、教会にある蝋燭の炎を見てきた。子どものとき、寺のなかで「これはお灯明(とうみょう)と言うの。覚えておきなさい」と何度も言われた。それ以来ずっとどこでも宗派など関係なく、蝋燭を見れば「お灯明だ」と思い、なぜかすぐにどこか心を鎮(しず)め、整えるということがあります。

火、灯、炎……。

毎年、8月16日、京都では先祖の精霊を送る「五山(ござん)送り火」があります。

先月7月号のこの「お届け文」に岩手県陸前高田市の名勝高田松原の松7万本がすべて3月11日の大津波でなぎ倒されるなかで、たった1本生き残った松を陸前高田市の復興のシンボルとして保存しようとしている人たちがいることを記しました。これを読んだ方が日経新聞6/30(木)付けの記事のことを教えてくれました。倒されてしまった松は五山送り火の夜、京都東山の如意ヶ嶽(大文字山)の「大」の薪(まき)にしてたかれることになったと記事にありました。

倒された松の薪200本は、東日本大震災で亡くなった人たちの遺族によって、名前やメッセージが書き込まれ、8月16日(火)の夜、先祖の精霊を送る五山送り火といっしょに点される。送り火の炎はこの日、テレビなどでも中継され、報じられることでしょう。

新聞の小さな囲みには大震災被災者数「死者15636人 行方不明4808人(7/26(火)現在)」とあります。されど、この数字の痛ましさは大きい。小さな囲みが伝える数字の重さを「大」の炎を見つめながら、改めて胸に刻んでおきたいと思いました。

記・小杉皓男[拠点やまと]広報係 2011/07/28

